

輝け！シン尾花沢中

第93号

令和7年

9月26日

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

勝っても負けても、大会に出場しなくとも、兜の緒を締めよ！

9月24日（水）の地区新人総体報告会で、私が尾中生に話した内容は以下の通りです。

朝晩涼しくなってきました。スポーツ・文化の秋がやってきました。

地区新人総体や各種大会に出場した選手の皆さん、お疲れさまでした。満足のいく結果を出せた選手がいる一方で、納得いく結果を出せなかった選手もいることが分かりました。

ここで、私が部活動の顧問だったときのことをお話しします。

野球部顧問であったとき、地区新人総体で惨敗を喫したことがありました。相手チームは強力打線で、球場のスタンドにホームランを打ち込んだ選手もいました。「高校生のような体格ばかりの相手に勝てるのか」とさえ思いました。しかし、冬場の基本練習にこつこつと取り組み、地区総体でも粘り強く戦い、終盤の決定機をものにして、勝利することができました。

逆に、ソフトボール顧問であったとき、地区新人総体で優勝できたのですが、地区総体で1回戦敗退という悔しい思いをしたこともありました。

地区新人総体は、来年6月の地区総体までの中間地点に位置付けられています。

私が皆さんに伝えたいことは「勝っても負けても、大会に出場しなくとも、**兜の緒を締めよ！**」ということです。**普段（の練習、日常生活、学習活動）を磨いていきましょう。**

なお、20日（土）～24日（水）に、大石田町町民交流センター「虹のプラザ」で行われた北村山中学校総合文化祭では、本校芸術部の皆さんの素晴らしい作品も展示されました。（→第91号を参照してください）

最後に、軟式野球会場の担当として、うれしかったことを紹介します。

軟式野球会場に、本校野球部3年生が応援に来てくれていました。自分たちが果たせなかった優勝を後輩が勝ち取ろうとしている喜び、自分たちが成し遂げられなかった悔しさ、複雑な思いが胸の内にあっただと思います。しかし、彼らは、ルール通り尾花沢中の体育着を着て、長根山に響き渡る必死の応援で、後輩と共に一緒に戦ってくれました。私は胸が熱くなりました。また、試合後は率先してグラウンドを整備してくれました。おそらく、他の会場でも同じような、尾中生による応援の姿があったことでしょう。

君たちは一人ではない。尾中生241名の集団で、支え、支えられています。その中で、一人ひとりが生徒会目標に掲げられている「響輝」になってほしいと思います。

選手の皆さん、応援してくれた方々、お疲れさまでした。

10月4日（土）、県中学校駅伝大会に本校女子駅伝部が出場します。県北ブロック大会に出場する選手、チームとともに、健闘を期待しています。

【文責：校長 工藤雅史】